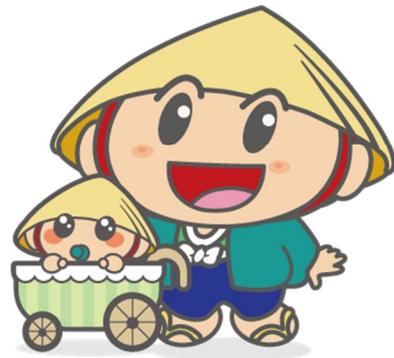


令和8年度 こども・若者関係予算の概要について



未来を担うこども育成プロジェクト

児童育成クラブ施設整備費

こどもまんなか社会推進費

こども・若者すこやか推進費

待機児童対策推進費

乳児等通園支援事業費

給食費無償化・負担軽減事業費(保育所等)

給食費無償化事業費(小中学校)

小・中学校大規模改修費、児童増加対策事業費

教育体制強化費

学校環境改善事業費

市立プール活用事業費(水泳学習移行)

にぎわい・再生プロジェクト

ロクハ公園プール再整備費

草津川跡地整備費・公園運営費

DX推進プロジェクト

電子版母子手帳導入費、乳幼児健診質問票 DX 推進費

校務 DX 推進費

行財政マネジメント

カスタマーハラスメント対策事業費

未来を担うこども育成プロジェクト

(単位:千円)

事業名	児童育成クラブ施設整備費			区分	拡大
令和8年度 事業費	担当部局・所属	こども若者部		こども若者政策課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
3,500	1,166	1,749			585

<事業の概要>

公設児童育成クラブの定員拡大や民設児童育成クラブの開設支援を行うことにより、放課後における児童の居場所を確保します。

【主な内容】

- ・「のびっ子」老上定員拡大 1支援単位分(40人定員)
老上小学校仮設校舎の活用を想定しています。
- ・民設児童育成クラブ施設整備 1か所(40人定員)
開設予定の小中学校区については、児童数や申込数の状況を検証した上で決定します。

【スケジュール】

令和8年度 「のびっ子」老上:備品整備(1支援単位分)
民設児童育成クラブ:公募、運営者の決定、施設整備および補助金交付
令和9年4月 「のびっ子」老上定員拡大、民設児童育成クラブ開設予定

【民設児童育成クラブ開設実績】

令和6年度 老上小学校区
令和7年度 老上小学校区、笠縫東小学校区
令和8年度(予定) 老上小学校区

<事業の目的・効果>

子育て世代の就業率の上昇に伴い、児童育成クラブの利用者は増加傾向にあります。放課後における児童の居場所を確保することにより、保護者の就労と子育ての両立を支援し、また、放課後の適切な遊びや生活指導等を通して、児童の心身の健全な育成を図ります。

経費の内訳		
	民設児童育成クラブ施設整備	
	事業費補助金	2,500
	「のびっ子」老上備品購入費 (債務負担行為)	1,000
	令和9年度～令和11年度 「のびっ子」老上管理委託費	30,600

未来を担うこども育成プロジェクト

(単位:千円)

事業名	こどもまんなか社会推進費		区分	新規・拡大
令和8年度 事業費	担当部局・所属	こども若者部 教育委員会	こども若者政策課 児童生徒支援課	
	財源内訳			
	国庫支出金	県支出金	市債	その他
6,535	3,255	1,200		2,080

<事業の概要>

対話や協働によって、様々な世代とのつながりをつくりながら、こどもや若者の主体的な取組を社会全体で応援する機運を広げることで、「こどもまんなか社会」の実現を目指します。

【「こども・若者の声を形に」プロジェクト推進事業】《拡大》

キラエ草津、UDCみなくさ、市民交流プラザと連携し、主に高校生や20代、30代の若者の居場所交流事業を试行します。また、市内高校へのアウトリーチや、若者支援のためのユースワーク講座を行うとともに、中学生と市長との対話や、大学生とのアイデアブレスト等の対話事業を継続し、対話や交流から生まれたアイデアを、協働事業として実施します。

【若者に選ばれるまちプロモーション事業】《新規》

若者クリエイターで創る「草津市発信部活動」を立ち上げ、若者によるプロモーション事業に取り組みます。また、「働く」「つながる」「住む」「楽しむ」といったテーマに基づき、若者に響く施策の見える化を進め、若者に選ばれるまち草津のPRを行います。

【こどもまんなか実現支援事業】《新規》

学校内での協働的・自治的な活動である特別活動等によってこどもの自己有用感、責任感、人間関係形成力等の生きる力を育むため、こどもたちが自分たちの意見を表明する機会を確保するとともに、こども同士の対話等のプロセスを経て計画する、充実した特別活動等の費用の一部を支援します。

<事業の目的・効果>

こどもや若者が、学校やサードプレイス(※)で同世代と交流し、意見を自由に述べる機会を整え、行政やまちづくりに取り組む様々な人たちとの対話を通じて、挑戦や協働に取り組むことを目指します。

こどもや若者自身が考えたプロジェクトを主体となって実行するとともに、社会全体で応援する機運を広げることで、「こどもまんなか社会」の実現を目指します。

※「サードプレイス」は、家(ファーストプレイス)と職場や学校(セカンドプレイス)に次ぐ、人々がリラックスし、交流し合うことができる第三の居場所

中学生や大学生が主体的に取り組んだ 2つの協働事業(令和7年度)	経費の内訳
 <p>Let's まなびバ! クサツハッケンジャー</p>	「こども・若者の声を形に」 プロジェクト推進費 4,800
	若者に選ばれるまち プロモーション事業費 1,710
	こどもまんなか実現支援費 25

未来を担うこども育成プロジェクト

(単位:千円)

事業名	こども・若者すこやか推進費		区分	新規・拡大	
令和8年度 事業費	担当部局・所属	こども若者部	こども家庭若者課		
		健康福祉部	子育て相談センター 健康増進課		
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
66,091	8,706	3,485	使	990	52,910

<事業の概要>

安心してこどもを産み育てられる支援や、こども・若者や親子がいそいそと過ごせる場づくりの充実に向け、新生児および乳児の健康を保持・増進するための予防接種の推進、家事・育児支援やひとり親等のこどもの居場所の対象年齢の拡大、子育て支援センターを充実させるための移転を支援します。

【主な内容】

・RSウイルス感染症予防接種費<新規>

令和8年4月からRSウイルス母子免疫ワクチンが定期接種として位置付けられることから、妊婦が地域の医療機関で接種を受けられる体制を整え、新生児や乳児の健やかな成長を支えます。

・草津っ子サポート事業費<拡大>

家事・育児を支援するホームヘルパー派遣の対象年齢を1歳未満から3歳未満に拡大、利用可能時間を6時間から18時間に拡大し、子育てに伴う不安や負担の軽減を図ります。

・こどもの居場所づくり事業費<拡大>

支援対象を中学生に加え小学校5・6年生に拡げ、ひとり親家庭のこどもや学校に行きにくいこども等に対し、学習支援や食事の提供、活動等を行うことでこどもの学びや成長を支援します。

・地域子育て支援センター移転整備費補助金<新規>

中学校区ごとに設置する子育て支援施設の移転を支援し、親子交流の場の充実を図ります。

<事業の目的・効果>

こどもの心身の健康増進を図り、子育て世帯への支援を行うことで、「心豊かでたくましく生き、未来をつくる草津のこども”草津っ子”」の健やかな成長を推進します。



経費の内訳

【RSウイルス感染症予防接種費】

ワクチン接種費	38,681
会計年度任用職員費	2,958
その他事務費	591

【草津っ子サポート事業】

ヘルパー派遣委託費	5,445
その他事務費	709

【こどもの居場所づくり事業】

運営委託費	4,648
-------	-------

(債務負担行為)

令和9年度～令和11年度 運営委託費	14,156
-----------------------	--------

【地域子育て支援センター移転整備費補助金】

移転整備費補助金	13,059
----------	--------

未来を担うこども育成プロジェクト

(単位:千円)

事業名	待機児童対策推進費			区分	拡大
令和8年度 事業費	担当部局・所属	こども若者部		幼児課・幼児施設課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
405,318	297,105	7,683	65,100	緑 26,000	9,430

<事業の概要>

子育て世帯の就業率の上昇に伴い、低年齢児や3歳児を中心とした保育需要の増加が見込まれることから、「草津市こども・若者計画」に基づき、施設整備の支援や保育士の確保を通じて、待機児童の解消に取り組みます。

【主な内容】

- ・民間保育所等施設整備費補助金(2施設、利用定員53人増)
令和9年4月に開設予定の民間の幼保連携型認定こども園の分園の整備を支援します。
- ・小規模保育施設整備費補助金(2施設公募、利用定員38人増)
令和9年4月に開設予定の民間事業者が実施する小規模保育施設の整備を支援します。
※整備施設数等については、児童数や申込数の状況を検証した上で決定します。
- ・保育士等確保対策事業費
学生や潜在保育士へ本市の保育現場の魅力や支援制度の情報を積極的に発信し、保育人材の確保を図ります。
ダイレクトメールの発送やSNSを配信(年2回予定)
動画やWebサイトの整備
折り込みチラシ配布(年2回予定)

<事業の目的・効果>

子育て世帯の働き方が多様化する中、仕事と子育ての両立を支援するため、保育ニーズを満たす施設整備や保育士等の人材確保に取り組むことで、安心して保育を受けられる環境の充実および待機児童の解消を図ります。

	経費の内訳	
	民間保育所等施設整備費補助金	342,364
	小規模保育施設整備費補助金	47,586
	保育士等確保対策事業費	15,368

未来を担うこども育成プロジェクト

(単位:千円)

事業名	乳児等通園支援事業費			区分	新規
令和8年度 事業費	担当部局・所属	こども若者部		幼児課・子育て相談センター 発達支援センター・幼児施設課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
16,944	12,573	2,068	使 諸	1,344 34	925

<事業の概要>

全てのこどもの育ちを応援し、子育て家庭に対する支援を強化するため、0歳6か月から2歳までのこどもの通園支援(こども誰でも通園制度)を実施します。

【実施予定施設】

実施予定施設	受入予定年齢	受入予定時間	受入予定人数
矢橋ふたばこども園	0歳6か月～2歳 (3歳になる前々日まで)	9:00-12:00 13:30-16:30	各時間6人まで
子育て支援センター ぽかぽかタウン	0歳6か月～1歳 (2歳になる前々日まで)	9:00-12:00 13:30-16:30	各時間4人まで
発達支援センター 湖の子園	0歳6か月～2歳 (3歳になる前々日まで)	14:30-16:30	

※その他、定員の空き枠を有効活用した余裕活用型乳児等通園支援事業を実施予定。

※施設ごとに受入可能な曜日が異なります。

【利用可能時間】

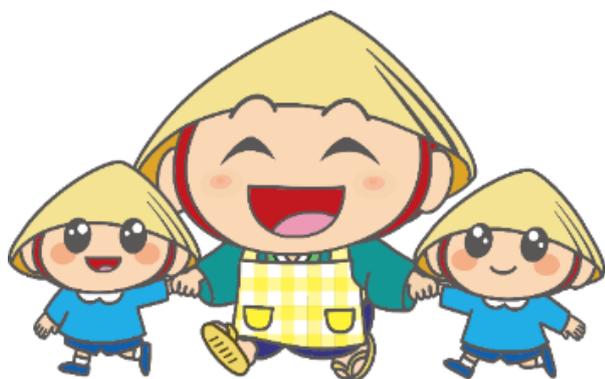
こども1人当たり 月3時間

【スケジュール】

令和8年4月 事業実施

<事業の目的・効果>

保護者の就労要件を問わず、誰でも利用できる通園支援に取り組むことにより、乳幼児に対して、多様な人と関わる機会等を提供するとともに、保護者の孤立感・不安感の解消や育児負担の軽減を図り、各家庭の状況等に応じて、切れ目のない子育て支援の拡充に努めます。



経費の内訳

【乳児等通園支援事業費】

公立認定こども園	7,359
子育て支援センター ぽかぽかタウン	7,718
発達支援センター 湖の子園	1,333
民間保育所等	358
他自治体広域利用事業	176

未来を担うこども育成プロジェクト

(単位:千円)

事業名	給食費無償化・負担軽減事業費(保育所等)			区分	新規
令和8年度 事業費	担当部局・所属	こども若者部		幼児課・幼児施設課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
97,026				繰 97,026	

<事業の概要>

市内保育所等では、適切な栄養の摂取によるこどもの健やかな成長と健康の保持・増進を目的として、給食を提供しています。

昨今の物価高騰の影響で、家庭での給食費負担が増加している状況を受け、本市の独自施策として、市内在住の3～5歳児の保育所等給食費について、新たに9月分から月6,700円を上限として、公立は無償化を実施し、民間保育所等は保護者の負担軽減を実施します。

・給食費無償化事業(公立)、給食費負担軽減事業(私立)

(対象者) 3～5歳児 約3,500人

(対象施設) 公立保育所・認定こども園

民間保育所等(保育所、認定こども園、幼稚園(私学助成施設除く))

※市外保育所等利用の場合も負担軽減の対象

【スケジュール】

令和8年4月～8月 要綱制定、準備

令和8年9月 事業実施

<事業の目的・効果>

給食費の無償化・負担軽減を実施することで、子育て世帯の経済的負担を軽減し、支援の充実を図ります。



経費の内訳

保育所等給食費負担軽減事業補助金 (民間保育所等)	97,026
(参考) 公立保育所・認定こども園の給食費無償化における 収入の減(△27,375千円)を含む影響額	124,401

未来を担うこども育成プロジェクト

(単位:千円)

事業名	給食費無償化事業費(小中学校)			区分	拡大
令和8年度 事業費	担当部局・所属	教育委員会		学校給食センター 第二学校給食センター	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
739,450		470,299		繰 上 諸 266,463 2,688	

<事業の概要>

食材料費が高騰している状況下においても、成長に必要な質・量が確保された給食の提供を維持するため、給食費を改定します。

なお、子育て世帯の経済的負担を軽減するため、令和6年度から実施している中学校給食の無償化を継続するとともに、令和8年4月から、小学校給食についても無償化を実施します。

また、アレルギーや不登校等で給食を長期間喫食できない児童生徒の保護者に対し、中学校と同様に小学校においても、給食費相当額の給付を行います。

【対象人数】

- ・公立小学校 児童数:約8,300人
- ・公立中学校 生徒数:約4,000人

【給食費月額(令和8年度)】

- ・公立小学校 5,200円 (令和7年度 4,500円)
- ・公立中学校 6,100円 (令和7年度 5,300円)

<事業の目的・効果>

食材料費の高騰の中にあっても、安全・安心かつ質や量の確保された給食の安定した提供を行うとともに、給食費を無償化することで、子育て世帯への支援の充実に図ります。



経費の内訳

学校給食無償化事業費	
公立小学校	469,841
公立中学校	261,430
学校給食支援給付費	
公立小学校	3,146
公立中学校	5,033

未来を担うこども育成プロジェクト

(単位:千円)

事業名	小・中学校大規模改修費、児童増加対策事業費			区分	継続
令和8年度 事業費	担当部局・所属 教育委員会			教育総務課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
697,872	93,875		393,800	緑 111,000	99,197

<事業の概要>

建築後、相当年数が経過した校舎等の学校施設の改修を計画的に実施するとともに、非構造部材(天井、窓ガラス、内外装材等)の耐震対策を行います。

また、児童数の増加で教室数の不足が見込まれる学校において、仮設校舎等を整備します。

【長寿命化改良事業】 412,174千円 <草津小:債務負担行為(令和9年度)14,400千円、笠縫小:債務負担行為(令和9年度～令和11年度)331,400千円>

- ・南笠東小学校予防改修工事、工事監理業務、仮設校舎リース
- ・笠縫小学校仮設校舎整備、EV棟増築工事実施設計業務
- ・草津小学校長寿命化改修工事基本・実施設計業務
- ・山田小学校耐力度調査

【トイレ改修工事】 156,032千円

- ・矢倉小学校トイレ改修工事、南笠東小学校体育館トイレ改修工事 等

【グラウンド改修工事】 82,643千円

- ・志津南小学校グラウンド改修工事 等

【非構造部材改修工事】 29,890千円

- ・矢倉小学校非構造部材改修2期工事 約5,233㎡ 等

【児童増加対策】 17,133千円 <草津小:債務負担行為(令和9年度～令和11年度)48,200千円>

- ・老上小学校仮設校舎リース、草津小学校仮設更衣室等整備・リース

<事業の目的・効果>

学校施設の改修・更新・予防保全を進めることで教育環境の改善を図るとともに、非構造部材の耐震化を行うことにより、学校施設の安全性を確保します。

また、教室の不足が見込まれる小学校において、仮設校舎等を整備し、必要な教室等を確保することで、教育環境の整備を図ります。

<参考> 令和7年度 草津小学校トイレ改修工事



改修後



改修後

<参考> 令和5年度 志津小学校仮設校舎整備



外観



内観

経費の内訳

南笠東小学校	
予防改修・体育館トイレ改修費等	431,673
矢倉小学校	
トイレ改修・非構造部材改修費	137,830
志津南小学校	
グラウンド改修費	72,776
老上小学校・草津小学校	
仮設校舎・仮設更衣室等リース料	17,133
その他調査費、実施設計費等	38,460
(債務負担行為)	
令和9年度	
長寿命化改修設計費【草津小】	14,400
令和9年度～令和11年度	
仮設校舎等整備費【草津小・笠縫小】	379,600

未来を担うこども育成プロジェクト

(単位:千円)

事業名	教育体制強化費			区分	新規・拡大
令和8年度 事業費	担当部局・所属	教育委員会		学校教育課・児童生徒支援課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
97,078		39,763			57,315

<事業の概要>

多様化・複雑化する学校問題への対応の充実、児童生徒の教育環境の充実、教職員の業務負担の軽減を図るために、以下の取組を拡大することにより教育体制の強化を図ります。

【学校問題解決支援チームの設置】《拡大》

いじめ等の学校問題対応やカスハラ防止対策が学校現場で円滑に進められるよう、特定任期付職員で編成する学校問題解決支援チーム(学校問題解決支援コーディネーター・スクールソーシャルワーカー・スクールカウンセラー)を設置します。

【スクールカウンセラーの市費配置】《新規》

学校問題等を原因として不安を抱える児童生徒等の心のケアや問題解決に向けたサポートができるよう、本市独自の取組としてスクールカウンセラー2人(会計年度任用職員)を配置します。

【部活動指導員等の配置】《拡大》

中学校における部活動指導の充実と教職員の負担軽減を図るため、地域人材等による部活動指導員を増員配置するとともに部活動支援員を継続配置します。

【スクール・サポート・スタッフの配置】《拡大》

教職員が児童生徒への指導や教材研究等に注力できるよう、教職員の業務支援を行うスクール・サポート・スタッフを継続配置します。また、令和8年度に限り、午前5時間制草津プランの実施に伴う学校における一時預かりの対応を行うためのスタッフを配置します。

<事業の目的・効果>

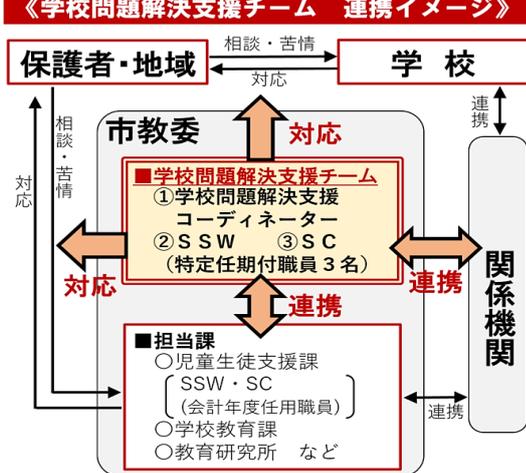
学校問題解決支援チームの専門的視点や関係機関との連携のもとで、学校だけでは解決困難な事案への対応やカスハラ防止対策の推進に向けて取り組み、学校問題の早期解決と学校負担の軽減を図ります。

スクールカウンセラーの配置により、学校問題等に関する相談支援体制の充実を図ります。

部活動指導員等の配置により、部活動が地域と連携した持続可能な取組となることを目指します。

スクール・サポート・スタッフの配置により、教職員の負担軽減を図り、児童生徒へきめ細やかな指導・支援を行います。

《学校問題解決支援チーム 連携イメージ》



※SSW…スクールソーシャルワーカー
SC …スクールカウンセラー

経費の内訳

学校問題解決支援チーム設置費	25,591
スクールカウンセラー配置費	8,058
部活動指導員配置費	10,996
部活動支援員配置費	360
スクール・サポート・スタッフ 配置事業費	52,073

未来を担うこども育成プロジェクト

(単位:千円)

事業名	学校環境改善事業費			区分	新規
令和8年度 事業費	担当部局・所属		教育委員会	教育総務課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
22,115					22,115

<事業の概要>

近年の記録的な猛暑から児童生徒の健康と安全を守るため、熱中症対策として全ての公立小中学校に冷水機を設置します。

また、学校の衛生環境の改善および教職員の負担軽減を図るため、小中学校におけるトイレ清掃について、年1回の外部委託を行います。

【主な内容】

- ・冷水機設置事業 各校2台～6台(学校規模による)
- ・学校トイレ清掃業務委託事業 各校年1回

【スケジュール】

- ・冷水機設置事業
令和8年6月 冷水機設置
- ・学校トイレ清掃業務委託事業
令和8年6月 個別清掃実施(各小中学校において、特に臭気の強い箇所のみ実施)
令和8年8月 重点清掃実施(上記個別清掃箇所を除く全小中学校のトイレについて、夏休み期間に実施)

<事業の目的・効果>

学校設備の充実や業務の外部委託を進めることで、教育環境の改善を図り、こどもたちが安心して学校生活を送るための環境整備および教員の働き方改革を推進します。



設置イメージ(冷水機)



経費の内訳

冷水機設置費	16,188
学校トイレ清掃業務委託費	5,927

未来を担うこども育成プロジェクト

(単位:千円)

事業名	市立プール活用事業費(水泳学習移行)			区分	拡大
令和8年度 事業費	担当部局・所属		教育委員会	学校教育課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
14,727					14,727

<事業の概要>

老朽化が進んだ学校プールについて、プールの建替を行わず、令和6年度に完成したインフロニア草津アクアティクスセンターを活用し、天候に左右されない計画的な水泳学習を行います。
令和8年度は、老上小学校に加え、プールの老朽化が進む常盤小学校においても実施します。

【主な内容】

- ・インフロニア草津アクアティクスセンターを活用した水泳学習を、令和8年度は老上小学校と常盤小学校で実施します。
- ・天候に左右されない計画的な水泳学習を実施します。
- ・児童の泳力向上を図るため、インストラクターの専門的な指導を行います。
- ・学校とインフロニア草津アクアティクスセンターの移動手段としてバスを利用します。

<事業の目的・効果>

インストラクターの専門的な指導により児童の泳力向上を図るとともに、複数の教員が監視をすることで、より安全な水泳学習を実施することができます。また、屋内での実施となるため、天候に左右されない計画的な水泳学習が可能となり、児童の熱中症対策にもなります。さらに、水泳学習期間中、水質や施設の日々の管理が不要となることで、教員の業務負担軽減にもつながります。



令和7年度 老上小学校の学習の様子

経費の内訳

水泳学習業務委託費	7,368
バス業務委託費	7,359

にぎわい・再生プロジェクト

(単位:千円)

事業名	ロクハ公園プール再整備費			区分	継続
令和8年度 事業費	担当部局・所属	建設部		公園緑地課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
10,379	2,172				8,207

<事業の概要>

オープンから35年以上が経過し、老朽化が進むロクハ公園プールの再整備を行います。
 令和7年度においては、学識経験者等で構成する検討委員会からの意見も踏まえ、近年の社会情勢の変化や物価動向なども踏まえた再整備の方向性について検討を進めました。
 令和8年度においては、これまでの検討内容をとりまとめた基本計画の策定と民間活力導入可能性調査を実施するとともに、再整備事業とその後の公園運営を担う事業者の募集・選定に向けた準備を進めます。

【主な内容】

アドバイザー業務(基本計画策定、民間活力導入可能性調査、事業者選定準備)

【スケジュール】

令和8年度 基本計画策定、民間活力導入可能性調査、事業者選定準備
 令和9年度 事業者の選定
 令和10年度 事業契約の締結、再整備着手
 令和12年度 再整備完了、供用開始

<事業の目的・効果>

老朽化の進むロクハ公園プールについて、社会情勢や市民ニーズを踏まえた再整備を行うことで、ロクハ公園の更なる賑わいの創出を目指します。



現在のロクハ公園プール

経費の内訳

アドバイザー業務委託費	9,548
委員会運営費	312
その他事務費	519
(債務負担行為)	
令和9年度～10年度	
アドバイザー業務委託費	27,800

にぎわい・再生プロジェクト

(単位:千円)

事業名	草津川跡地整備費・公園運営費			区分	継続
令和8年度 事業費	担当部局・所属	建設部		草津川跡地整備課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
1,216,282	410,800	16,285	401,800	繰 上 諸 47,000 119,758	220,639

<事業の概要>

草津川跡地利用基本計画に基づき、区間ごとに順次公園整備を進めるとともに、供用を開始している公園の管理運営に取り組んでいます。令和8年度は、令和7年度に引き続き栗東市と連携を図りながら、区間6の工事等を実施するとともに、民間事業者誘致エリアの事業者選定を行います。
また、公園のにぎわいの創出や、こどもの居場所づくりの取組として、区間4のJR琵琶湖線上部に遊具等の設置を行います。公園運営については、ai彩ひろば、de愛ひろば等の管理を行います。

【主な内容およびスケジュール】

草津川跡地整備費

・区間6整備事業

令和8年度～令和10年度に土砂搬出、道路・公園整備等の工事を行います。

令和8年度に民間事業者誘致エリアの事業者選定を行い、令和9年度に選定された事業者において工事を実施し、令和10年度に民間事業者誘致エリアの供用開始を目指します。

・区間4JR琵琶湖線上部遊具等設置工事

令和8年度に遊具と日陰対策施設の設置を行います。

草津川跡地公園運営費

・草津川跡地公園指定管理業務

ai彩ひろば、de愛ひろばについて指定管理者による管理を行います。

<事業の目的・効果>

にぎわいが創出され、人と自然が触れ合い、うるおいがもたらされる空間づくりに取り組んでいくために、草津川跡地が市民の憩いの場や、多様な市民活動の場、また、多くの人に関わる魅力的な空間、災害時の防災空間となるよう整備・運営を行います。



【イメージ】①(国道1号から西側を望む)



【イメージ】②(国道1号から東側を望む)



経費の内訳

【草津川跡地整備費】

区間6整備工事費等	1,026,446
民間事業者誘致支援業務委託費	11,003
区間4JR上部遊具等設置費	34,991
その他維持管理費等	35,568

【草津川跡地公園運営費】

草津川跡地公園指定管理料	91,654
その他維持管理費等	16,620

(債務負担行為)

令和9年度

区間6民間事業者誘致事業費	315,000
---------------	---------

令和9年度～令和10年度

区間6整備工事費	1,606,800
----------	-----------

DX推進プロジェクト

(単位:千円)

事業名	電子版母子手帳導入費、乳幼児健診質問票DX推進費			区分	新規
令和8年度 事業費	担当部局・所属	こども若者部		子育て相談センター	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
9,647	4,823				4,824

<事業の概要>

電子版母子健康手帳を導入し、スマートフォン等による妊娠届出時のアンケートの事前入力や、乳幼児健診の質問票の事前入力等が行える環境を整え、利用者の利便性の向上を図ります。また、妊娠記録やこどもの成長記録を確認できるようになるとともに、妊娠期やこどもの月齢・年齢に応じ必要な時期に情報をお届けし、子育てをサポートします。

【主な内容】

- ・妊娠届や子育て期の各種アンケートのデジタル化
- ・乳幼児健康診査質問票のデジタル化
- ・妊娠期から子育て期の必要な情報の発信

【スケジュール】

- 令和8年10月 電子版母子健康手帳の運用開始
- 令和9年 1月 乳幼児健診の質問票デジタル化開始(10か月児健診、1歳6か月児健診、2歳6か月児健診、3歳6か月児健診)

<事業の目的・効果>

電子版母子健康手帳の活用により保護者の負担軽減と利便性の向上を図り、更なる子育て支援の充実につなげるとともに業務の効率化を図ります。

	経費の内訳	
	電子版母子手帳導入費	3,666
	乳幼児健診質問票DX推進費	5,981

DX推進プロジェクト

(単位:千円)

事業名	校務DX推進費			区分	拡大
令和8年度 事業費	担当部局・所属	教育委員会		学校政策推進課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
7,050				繰	7,050

<事業の概要>

「教育の情報化」の行動計画である「草津市学校教育情報化推進計画第2期計画」に基づき、校務DXを更に推進し、教職員の働き方改革の促進および児童生徒へのきめ細やかで適切な指導・対応の充実を目指します。

【主な内容】

・デジタル健康観察

小中学校において、毎朝各教室で実施する健康観察について、令和7年度に実施した校務のロケーションフリー(※)化を基盤に、各担任が紙ベースで実施後に養護教諭が集約および校務支援システムへ個別入力する従来の運用を、各担任が教室でシステム上の顔写真付き画面へ直接入力することで、情報共有および出席簿等への反映が自動で行えるデジタル健康観察の機能を導入します。

・デジタル採点システム

中学校において、教科担任が複数クラス分の採点を行う定期テスト等の採点業務について、記号問題の自動採点機能や、問題ごとに全員分の回答を一画面で一覧表示することにより採点を効率化する機能等を備えたシステムを導入します。

【スケジュール】

令和8年7月 デジタル健康観察 運用開始
令和8年9月 デジタル採点システム 運用開始

※セキュリティを担保した上で、場所を選ばずどこでも校務情報にアクセスできる環境

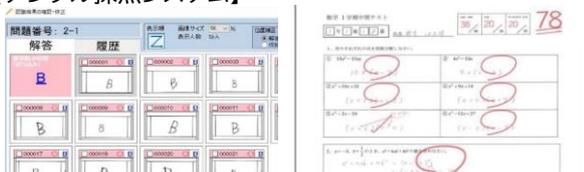
<事業の目的・効果>

デジタル健康観察については、健康観察実施時に、校務支援システム上の顔写真付き画面への直接入力を行うことで、入力ミス防止および効率化を図るだけでなく、朝活動時間の有効活用を実現するとともに、必要な児童生徒対応の早期化、感染症対策の迅速化を目指します。また、デジタル採点システムについては、中学校の校務において、時間や労力を要する定期テスト等の採点業務の効率化を図ります。これらのシステムの有効活用により、学校経営の高度化や働き方改革を進め、児童生徒へのきめ細やかで適切な指導・対応の充実を目指します。

【デジタル健康観察】



【デジタル採点システム】



経費の内訳

デジタル健康観察導入・運用費	6,530
デジタル採点システム導入・運用費	520

行財政マネジメント

(単位:千円)

事業名	カスタマーハラスメント対策事業費			区分	新規
令和8年度 事業費	担当部局・所属	総合政策部 総務部 他		職員課 総務課 他	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
60,676				使 1,510	59,166

<事業の概要>

令和7年6月11日に公布された改正労働施策総合推進法(令和8年10月施行予定)により、カスタマーハラスメント対策が事業主に義務化されることを踏まえ、カスタマーハラスメントおよび不当要求行為の対策の一環として、音声案内付き電話録音装置および防犯カメラの設置を行います。

【主な内容】

- ・音声案内付き電話録音装置を設置
対象施設:公共施設(指定管理施設を含む。) 106施設
設置基準:電話交換機のある施設は、電話交換機に自動音声案内・録音機能装置を付加
電話交換機のない施設は、個々の電話機に音声案内機能付録音装置を設置
- ・防犯カメラを設置
対象施設:公共施設(指定管理施設を含む。) 88施設 計135台
設置基準:不特定多数のサービス利用者への一次対応を行う窓口カウンター1か所に設置
(施設の構造上、複数設置が必要な場合のみ2か所以上に設置)

【スケジュール】

- 令和8年4月～ 防犯カメラの整備、施設ごとに順次運用開始
- 令和8年12月 音声案内付き電話録音装置の運用開始

<事業の目的・効果>

カスタマーハラスメント対策を行うことで、職員が安心して働くことができる職場環境を整え、より良い市民サービスの提供につなげます。

		経費の内訳	
		音声案内付き電話録音装置設置費	33,345
		防犯カメラ設置費	27,331